

大津皇子の屍を葛城の二上山に移し葬りし時に、大伯皇女の哀しび傷みて作りませる歌二首				
宇都曾見乃	人尓有吾哉	從明日者	二上山乎	弟世登吾將見
うつそみの	人なるわれや	明日よりは	二上山を	弟世とわが見む
うつそみの	ひとなるわれや	あすよりは	ふたかみやまを	いろせとわがみむ
この世の	人である私は	明日からは	二上山を	弟と思おう
				万葉集 卷二 165 大伯皇女